

OMC事務局 〒560-0085 豊中市上新田4-16-1-33 合原一夫 TEL06-6833-9227

広報編集局 〒573-1171 枚方市三栗1-18-20 前田茂夫 TEL072-850-5781

<http://www6.ocn.ne.jp/~nakabc/omc-news/kaiho.htm>

平成25年9月(2013年) No.573

映像発表会の秋、大いに観に行こう

会長 合原一夫

今年の夏は例年になく猛暑続きで、外へ出るのがおっくうな位でしたが9月の声を聞きますと、夕方になると虫の声が聞こえたり朝夕や涼しさを感じる季節がやってまいりましょう。さて、9月16日は大阪アマチュア映像連盟主催の「懐かしの8ミリ映画を楽しむ会」が関西ではトップバッターとなり、10月6日にはわがクラブ「OMC映像フェスティバル」が、続いて大阪アマチュア映像連盟と大阪市立中央図書館との共催による「大阪アマチュア映像祭」が10月20日に開催、10月26日には京都アマチュア映像祭、翌27日はビデオサークル堺の発表会、未確認ながら11月3日神戸映像発表会が予定されています。

遠く関東に目を向けますと9月15日「東京アマチュア映像祭」が朝10時から夕方6時まで江戸博ホールで開催。今回は前田茂夫氏「余部は、今」が入選されています。東京21クラブが1作品ずつ持ち寄って上映され、最後の第4部に全国コンテスト入賞作品が上映されます。今や関東きっての映像界の一大イベントとなっています。その他、新宿ビデオ愛好会の公開映写会、元川上勝晤会長の東京映像発表会、市川映像協会の「旅の映画の夕」、町田映像公開映写会など関東も発表会ラッシュです。

公開映写会では会員のベストと思われる作品を出品している筈なので、観れば必ずや何か得るもの、参考になるものがある筈です。同じ題材でも構成や編集によりがらりと違った印象を受けるものです。自分のクラブ内だけでは味わえない作品の幅と表現方法など勉強になります。できるだけ時間をつくって発表会には出掛けるようにしましょう。

9月例会のお知らせ

9月例会は第4土曜28日午後6時より、いつもの難波市民学習センター（JR難波OCATビル4階）にて開催します。気候も暑さもすっかり和らいでいる頃でしょう。月1回の集まりです。楽しいひと時を過ごしましょう。皆様の作品も期待しています。

第17回大阪アマチュア映像祭 プログラム決まる

- 1.伊吹山花紀行・森口吉正・OMC
- 2.ヴィクトリアの滝・華岡汪・OMC
- 3.はす酒を楽しむ・新井正直・寝屋川映像
- 4.大阪南港の野鳥たち・井脇務・OVC
- 5.ブタペスト・植村寿彦・ビデオくん
- 6.初夏の浜寺公園・蟹江利一・きしわだ
- 7.地図から消された島・堀皓二・北大阪
- 8.梶本邸の藤まつり・鈴木孝治・岸和田
- 9.ラムサール登録中地見湿地・桑本順子
<休憩> 大阪ビデオくんクラブ
- 10.Wonderful USJ・坪井仁志・北大阪
- 11.氷河・上総修一郎・OMC
- 12.蘇ったくい倒れ太郎・橋本隆・北大阪
- 13.ガンジス・夕べの祈・南部敬三・齋
- 14.太陽の塔に思いを・橋本良子・高槻ビ
- 15.菜の花の咲く町・有村博・OVC
- 16.琵琶湖疎水物語・竹田幸男・寝屋川映
- 17.串柿の里・井原康亘・ビデオサークル堺
- 18.客家土楼・山本正夢・OMC 以上

◎日時：平成25年10月20日（日）13時

◎場所：大阪市立中央図書館大会議室

大阪ムービーサークルからは4本出品されています。皆さん当日の観客動員にご協力ください。なおプログラムは唯今印刷中で9月19日に出来ますので配布はそれ以降になります。

■予告① 11月例会は第4土曜23日が祭日で夜の例会が出来ませんので午後1時からです。

■予告② 12月例会は第3土曜21日18時よりとなりますのでご予約ください。なお当日午後、幹事会及び世話役会を行います。

■予告③ 1月例会は第3日曜19日13時より開催、17時より新年会を例年通り予定。

8月例会レポート

このところ連日猛暑続きでしたが、例会日の24日は朝から曇、時々小雨で久しぶりに気温が下がりほっとした日でした。場所によっては集中豪雨で水害が発生したとかニュースで放送していました。今年の気候は少々異常のようです。

さて例会日の会場には定刻8時前には、ほ

とんどの会員さんがロビーに集まり、楽しい雰囲気があたりを包んでいました。

今月の司会是有村氏、書記、合原氏、上映係、河合氏、録画担当江村氏、受付兼照明係は宮崎、森下両氏の担当で進行しました。

■出席者：有村、上田、江村、上総、紙本、河合、黒田、合原、進藤、関、高瀬、鉄具、華岡、前田、宮崎、森下、森田、山本、渡辺の19氏と作品11本。

■上映作品（今月の講評は合原会長です）

1. 2011前夜祭（BD）

江村一郎

7分00秒

作者のよさこい作品は数多くありますが前夜祭を扱ったものは初めてだそうです。セレモニーが主ですので関係者の挨拶や優勝旗返還、そして舞台上の踊りがあって進行しますが、江村作品らしく記録としてではなく、感覚的に捉えて作品にしておられます。全国的に同じようなよさこい祭りをやっているの、一つ全国のよさこいをまとめて一本の作品にしたらどうかと関さんから声があがりました。ふと児島範昭氏の「日本祭考」が頭をよぎりました。

2. 静かな静かなお祭り（BD）

鉄具嘉夫

10分00秒

賑やかなよさこいの次は一転して静かな交野市の「織姫の里・天の川星まつり」を撮影してこられた作品です。ピアノのBGMをバックに順を追ってまとめられていますが、こういう作品は記録を重視してまとめるか、映像的に雰囲気をかもし出すような作り方をするかで、必要なカット、或はむしろ省いた方がよい画面などが選別されてきます。妙見神社での巫女さんの舞い等ちらっと出ますが、何か中途半端ですし、あと先との繋がりも判りません。結局総花的なまとめ方でイメージが分散してしまうのは惜しいと思います。幻想的な場面もありましたので、どういう作品をつくるんだという考えを固めて、そのためにはどんなカットが必要か、或は切り捨てるか、もう一度挑戦してみてください。きっとロマンチックないゝ作品が出来ますよ。

3. 房総の城（BD）

紙本 勝

13分30秒

全国の城めぐりをなさり映像を通して私

たちを楽しませていただいている紙本さん、今度の旅は千葉県房総半島、久留里城と館山城でした。城の由来や里見八犬伝のお話などくわしく調べて描かれています。よくもあれだけ歴史物語を調べて撮影されてきたものと唯々敬服の至りです。結局、頭に入れることは無理でしたが、お城にはいろいろと歴史上の話があるものだなあとということがうなづけました。楽しい作品ありがとうございました。

4. タシュケント (BD)

華岡 汪 8分33秒

以前のソ連領で今は独立しているウズベキスタンの首都タシュケントという街を旅行してこられました。人口230万人の大都会で戦火や地震被害から立ち直って、今やソ連色から脱し再建著しいところだそうです。超高層ビル等はなく美しく落ち着いた建物と街並みは好感がもてます。

ソ連時代の日本人抑留者が79名亡くなられ、その慰霊碑が静かな墓地に建てられており日本語で彫られた文字が、遠い異国の地で何かほっとしたものを感じました。

ラストカットはバスの中から街並みを流しながら「終」マークがでましたが、日本人慰霊碑のあるところで、「日本人がいゝ仕事をし確かなインフラ整備にも力を尽くしてきたから、この地の人たちは親日的なのです」とのナレーションで終わった方が印象的な作品に仕上がったと思います。

5. マレーシア。ミャンマー紀行 (BD)

有村 博 9分25秒

おなじみ映像仲間4名とミャンマーとマレーシアの旅を楽しんでこられたときの記録で、気楽にスナップ的にまとめられています。ノンナレーション作品で、ラストに「楽しい旅でした」「〇〇、〇〇、〇〇、〇〇さん、ありがとうございました」のテロップが出てエンドマークです。これを入れるならトップに今回はこれこれの人と連れだって旅を楽しみました、といった説明を入れるべきでした。知っている人はいいいのですが、第三者がこの作品のみを初めて見たとすれば、とまどいを感じられることでしょう。せっかく撮られた貴重な映像ですから手抜きをすることなく大事に作品にまとめたいものです。

6. 北宇智 (BD)

前田茂夫 14分35秒

関西で唯ひとつ残っていたJRのスイッチバック駅が廃止されるという話を聞いて、「鉄チャン」でもある作者が、今のうちにと早速出かけて行って撮影された映像で、もう6年にもなるそうです。撮ってから余部シリーズにかかり切りだったので、ようやくこの程纏めましたと持参されたのがこの作品。

SLの頃は勾配のきつさをカバーするためにこうしたスイッチバック式の線路があちこちにあったのですが、強力な電気機関車や電車時代になって次々と廃止されてしまいました。

この作品はスイッチバックの様子を図解入りで判り易く描いておられます。スイッチバック駅を改造して一本の線路にしてしまうため2日間列車の運行をとめて工事する様子や、近所の方へのインタビューなど、前田作品ならではの丁寧な描写はさすがでした。これで5分間の時間短縮が出来たということですが。隣駅の五条駅と吉野口駅の時刻表は変っていないとのこと。時刻表を変更するのは大きな影響が出るので、時刻表大改正時にあわせて短縮時刻になるのでしょう。貴重な映像記録でした。

7. 寺内ざんざか踊り (BD)

進藤信男 17分40秒

兵庫県北部の但馬地区、和田山町寺内地区(てらうちと呼ぶ)にある佐伎都比古神社が舞台の夏祭「寺内ざんざか踊り」を撮影されてきました。兵庫県指定民族無形文化財に指定され400年の歴史ある祭りだそうです。中年の男たちが猿の衣装を着て、長さ3メートルの竹に飾りをつけた「しない」と呼ばれるものを背負い、神社へ向かいます。途中には幟が立っていましたが、わが故郷の祭りにも幟が立っていたことを懐かしく思い出しました。

神社境内では伝統行事にのっとり、太鼓や囃子に合わせて男達が踊りを披露しますが、これが延々と続くので、記録篇としてはともかく、一般向け作品ではもう少しテンポよく編集された方がよいように思います。全体にロング気味の画面が多いので、もう少し画面に変化が欲しいところです。

特に飾り竹を背負った男が這い蹲って力強く舞った後の顔の表情が、何とも言えぬ印象を受けたので、こういうカットは顔のアップがほしいところでした。

神社での踊りが終わると近くの光福寺境内へと移り、同じような踊りが続きます。

観光客もあまり見当らない地方の伝統ある祭りを、私たちも見せてもらって一つ知識が増えたよな気がしました。ご苦労様でした。

8. バガン遺跡 (DVD)

森田光春

9分51秒

ミャンマーのバガンというところは、古い寺院やパゴタが林立するバガン王朝時代の宗教都市の跡です。今では観光地化されて日本からの旅行ツアーもよくここを訪れています。私も写真ツアーで平成12年にここへ行ったことがありましたが、夕陽をバックにパゴタのシルエットは何とも云えない絵になる風景でした。パゴタの上へ登るには急な勾配の石段を怖い思いをしながらよじのぼったものですが、この作品を見るとチラリと金属の手摺りが見えたので、観光対策が進んでいるのかなと感じました。

こういう遺跡は当然世界遺産になっていると思いましたが、金ピカの仏像など手を加えてあるので世界遺産としては指定されていないとのことでした。

遺跡の入り口には青空市場が賑わっていましたが、以前と変らぬ風景に懐かしく思いました。

作品で気が付いたのは、ナレーションが少し聞き取りにくいので、ナレーションのところは思い切ってBGMの音量を下げるよう注意されたら聞き易くなると思います。

9. 最後のたんぼ (HDV)

合原一夫

14分48秒

私の住むところは千里ニュータウンに囲まれながらも、ニュータウン計画から除外された地区です。立派な旧家や神社仏閣、明治時代に建てられた古い木造の小学校、そして田畑、竹林などの自然環境が残されているところから、思い切った再開発を見送ったのでしょうか。ニュータウンが出来、大阪万博の頃は皆まだ若く農作業も盛んで

したが、親の時代から子の時代への代替りなるにつけ、農業を受け継ぐ人が少なくなり、農地や竹林を相続税対策もあって手放す人も増え、次第にマンション用地として開発される時代になってきました。筆者は昭和49年ここへ引越してきて以来、折にふれ8ミリフィルムやビデオで撮ってきましたが、今回ようやく纏めたのがこの作品です。8ミリフィルム時代と大きく変わっていることに我ながら驚いています。

たった1枚のたんぼになってしまった主人公の田、それも高齢化で遂に田植えをあきらめざるを得なくなった現実。都会の片隅に細々と耕しておられる田畑の現状は、どこの街でも同じような悩みを持っておられるのではないか、そんな気がします。

10. ひつじの丸焼 (HDV)

山本正夢

7分10秒

バルカン半島のボスニア風の、というサブタイトルがありました。友達から招待をされて行かれたようです。水浸した道を車で出かけます。広い牧場の一角にその家がありました。ここで羊を丸太で串刺して焼き上げ、食べるまでの過程をくわしく描写されています。日本ではまずお目にかかれない豪快な羊の丸焼き料理で、残酷だとの声も出ました。しかし日本では魚などは平気で串刺ししたり切り刻んだりして食べて、おいしいといっているのですから、国民性の違いでしょうか。めずらしい情景の印象に残る作品でした。

11. 大原祇園 (BD)

高瀬辰雄

11分30秒

題名から見ると京都かと思いましたが、これは滋賀県甲賀市甲賀町の大鳥神社で行われる大原祇園本祭りの記録でした。九つの地区はそれぞれに太鼓持ちの男の子達、数基の花がさを持つ一行、青竹を持つ御輿担ぎの男達が続き神社へ入る。太鼓同志のぶっつけ合い、花がさを大勢の若者たちが竹竿で叩き花がさに飾られた花を奪い合うなど、荒々しさを華麗さの中で見物人も暑くなるという600年の伝統の祭りでした。全国には私たちが知らない地方の伝統ある祭りがまだまだあるものだと感じ入りました。